

ことば	読み	出現頻度	レベル	品詞	例文	備考
施設	しせつ	6	N I	名詞	市には、体育館やプール、グラウンドなどの運動施設があり、市民が格安で利用できるようになっています。	「施設」は建物など大きいものを指す。機械や器具など小さいものは「設備（せつび）」という。
立地	りっち	3	級外	名詞	最近は、立地がいい大学に受験者が集まっている。	
市街	しがい	1	N I	名詞	この地域の市街化を進める計画がある。	場所を指すときは「市街地」をよく使う。
市街地	しがいち	9	級外	名詞	市街地は、朝と夕方の通勤時間帯にいつも渋滞（じゅうたい）している。	行政区域（市や町、区）の中で家や店が集まる、にぎやかな土地を「市街地」という。「繁華街（はんかがい）」は店やデパートが立ち並び、人が集まるにぎやかな土地、「商店街」は店が立ち並び通りやせまい地域のことを示す。
端っこ	はしっこ	4	級外	名詞	電車に乗ったら、端っこに座ろうとする人が多いのは、パーソナルスペースと関係がある。	「端（はし）」と同じで、「端っこ」のほうが話しことば的。「はじっこ」と言うこともある。似たものに「隅（すみ）」と「隅（すみ）っこ」があるが、「端」「端っこ」が長いものについて言うのに対し、「隅」「隅っこ」は囲まれたものについて言う。
水田	すいでん	4	N I	名詞	水田には、メダカやカエルなど、様々な生き物が生息している。	「田」と同じ。「たんぼ」は話しことば的。
外縁	がいえん	5	級外	名詞	公園の外縁部に植物を植えることによって、周辺の住宅に良好な景観（けいかん）を提供している。	
扇形	おうぎがた	3	級外	名詞	クジャクが羽を広げると、扇形になる。	「扇（おうぎ）」は手に持って、あおぐ道具で、たためるものをいう。「せんす」ともいう。扇のような形、円の一部分の形を「扇形（おうぎがた）」という。
扇状地	せんじょうち	6	級外	名詞	川が山から平野に流れ出るところに、砂や石がたまってできた地形を「扇状地」という。	
地形	ちけい	9	N I	名詞	日本の地形を調べると、山と丘（おか）が国土の7割を占めている。	
河川	かせん	15	N I	名詞	明日、強くて大型の台風が上陸する予報が出ている。河川の氾濫（はんらん）に気をつけなければならない。	一般的には「川」を使う。「河川」は小さい川も大きい川も指し、専門用語や行政用語などで使われる。
河原	かわら	4	級外	名詞	キャンプに行ったとき、河原でバーベキューをしました。	「川原」も同じ。
水無川	みずなしがわ	11	級外	名詞	明治時代、「加茂（かも）川」はほとんどの部分が水無川だった。	
等高線	どうこうせん	5	級外	名詞	地図上で、同じ高さの地点を結んだ線を「等高線」という。等高線から、斜面（しゃめん）が急か緩（ゆる）やかかがわかる。	
緩やか	ゆるやか	4	N I	な形容詞	①この服は緩やかな着心地で、部屋着にちょうどいい。②この川は流れが緩やかだ。③この道は緩やかなカーブになっている。	①大きさ、②速さ、③角度についていう。
斜面	しゃめん	3	N I	名詞	このスキーコースには急な斜面もあり、上級者向けだ。	「斜面」は傾（かたむ）きがある場所、「傾斜（けいしゃ）」は傾（かたむ）きがあることを指す。「斜面」は「傾斜」のある場所のこと。
崖	がけ	2	N I	名詞	崖の上から下を見下ろしたら、怖くて、足がすくんだ。	
氾濫	はんらん	2	N I	名詞	①大雨で、河川が氾濫するおそれがある。②SNSによって正確ではない情報も氾濫しているので、よく見極めなければならない。	①川の水があふれることをいうが、そこから②情報などがあふれることにも使う。よくない情報に使う。「氾濫」は川の水があふれること、「洪水（こうずい）」は氾濫することをいう。
沿う	そう	3	N2N3	動詞	①川に沿って、遊歩道が整備されている。②社長の意に沿うように、企画を作り直した。	①川や道など、長く続くものに並行することから、②希望や要求に従って、離れないことも指す。
盆地	ぼんち	2	N2N3	名詞	周りを山に囲まれている平地を盆地といい、京都の地形は盆地である。	
平野	へいや	3	N2N3	名詞	関東平野は日本で最も広い平野で、東京都とその周辺の6県にまで広がっている。	「平地」は平らなところをいい、広いところも狭いところも示すが、「平野」は海拔が低くて平らなところで、広さのあるところを示す。